

# 医療への質マネジメントアプローチ

2016年2月27日(土), 2月28日(日)

於: 早稲田大学西早稲田キャンパス63号館2階03, 04, 05会議室

PCAPS研究会代表: 水流聡子(東京大学), 顧問: 飯塚悦功(東京大学), アドバイザー: 棟近雅彦(早稲田大学)  
QMS-H研究会代表: 飯塚悦功(東京大学), 副代表: 棟近雅彦(早稲田大学)・水流聡子(東京大学)

医療の質・安全への関心の高まりのなかで、有力な方法の一つと期待されているのが、「質マネジメントアプローチ」です。いかなる分野でも、良質の製品・サービスの提供のためには、当該分野に固有の技術・知識(固有技術)と、それらの技術・知識を組織的に活用するための方法論(マネジメント技術)が必要です。「医療への質マネジメントアプローチ」とは、この考え方にに基づき、医療の質・安全に必要な知識・技術・技能の開発・可視化・構造化・標準化とともに、これらの技術を組織的に活用していくための基礎となる、マネジメントの基本概念の理解、マネジメントシステムの確立・改善、人材育成、組織文化・価値観の確立などに焦点を当てる、組織的な改善・改革の方法論です。

PCAPS研究会・QMS-H研究会の両研究会は、大学の工学系研究者と病院及び個々のエキスパート臨床家との共同研究により、「質マネジメントアプローチ」による医療の質・安全の向上をめざしてきました。PCAPS研究会は、治療方法などの臨床知識・技術の構造的可視化とその応用に焦点を当て、またQMS-H研究会は、それらの臨床知識・技術を組織的に有効活用するためのマネジメントの方法論の開発と医療機関への導入・推進方法の確立に取り組んでいます。

本年度、PCAPS研究は、病院日常臨床への実装、診療ガイドラインの活用と改善、地域医療システムへの展開、がん拠点病院群の質評価など、構造化臨床知識の現実世界への多様な実装を紹介し、PCAPSによって収集される臨床データを用いた臨床と医療経営に関する分析の可能性・有用性を提示します。QMS-H研究に関しては、医療質マネジメントシステムの全体モデルと、その構成要素である業務標準、文書管理、業務システムの見直し、看護業務プロセスの管理・改善について、実践的研究成果を紹介し、医療の質・安全の向上に取り組んでいらっしゃる多くの方々への参加を歓迎いたします。

PCAPS (Patient Condition Adaptive Path System: 患者状態適応型パス)

QMS-H (Quality centered Management System for Healthcare: 医療における質中心経営管理システム)

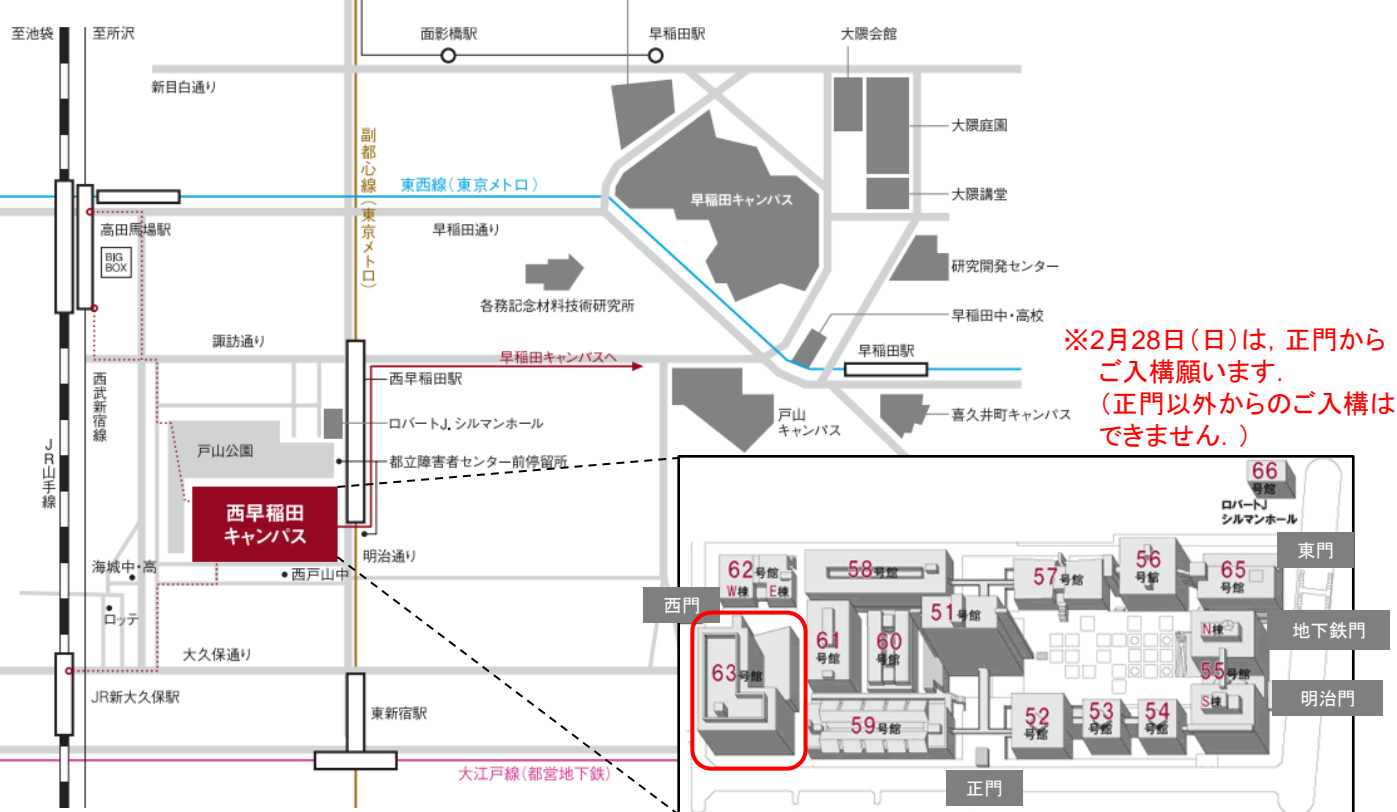
## ■ 1日目: 2016年2月27日(土) 13:00-17:00 「PCAPSの実装・臨床分析・社会システム構築」

- I. PCAPSの実装とプロスペクティブデータによる臨床分析の可能性
  - ・飯塚病院(局所麻酔手術、日帰り手術の1年間データによる臨床評価)
  - ・聖マリア病院(新電子カルテとの粗結合によるSOAP記録の実現、リハビリ臨床分析)
  - ・禎心会病院(全入院患者への適用、PCAPSによる計画立案・オーダー発行・HIS連携・構造化サマリー生成)
- II. PCAPSを活用した出生・成長発達・急性期から回復期医療・在宅・施設までの連携システム
  - ・周産期医療の地域連携支援システム
  - ・小児地域保健医療システムの構築
  - ・急性期から回復期医療、回復期医療から在宅医療看護への連携システム
  - ・介護サービス地域連携システム
- III. パネルディスカッション: がん医療の質向上のための組織的改善PDCAサイクルの実現
- IV. ポスターセッション
- V. 今年度のまとめと来年度以降の計画

## ■ 2日目: 2016年2月28日(日) 9:30-17:00 「医療 QMSと組織的改善」

- I. 本研究会のねらい、意義、展望
- II. 日常管理
  - ・日常管理システムの基本的考え方と構築方法
  - ・内服管理、CT造影検査への方法論の適用
  - ・各業務における管理の実践と一般化
- III. 文書管理
  - ・効果的な文書管理の導入と推進
- IV. 各病院の重点課題に対する取り組み
  - ・2015年度重点課題に対する取り組み結果の報告
- V. ポスターセッション
  - ・個別研究テーマの発表
- VI. 医療QMS診断
  - ・診断ツールの説明と本WGの進め方
  - ・病院での実践事例報告
  - ・実施結果のまとめと今後の課題
- VII. 看護業務プロセスの管理
  - ・看護師のリーダー業務の評価方法
  - ・病院での適用事例報告
- VIII. 今年度のまとめと来年度以降の計画

# キャンパス周辺図



※2月28日(日)は、正門からご入構願います。(正門以外からのご入構はできません。)

## 【電車】

西早稲田駅(地下鉄副都心線)直結  
 高田馬場駅(JR線, 西武新宿線, 地下鉄東西線)  
 徒歩15分  
 新大久保駅(JR線) 徒歩12分

## 【バス】

学バス利用 早77 新宿西口発早稲田行  
 「都立身体障害者センター前」バス停下車  
 学バス利用 高71 高田馬場駅前発九段下行  
 「都立身体障害者センター前」バス停下車

## ■参加費・参加申し込み:

参加費は無料です。ただし、資料準備のため、必ず事前に参加申し込みをしてください。参加申し込みなく当日参加された場合、資料が準備できない場合がありますので、ご了承ください。

必要事項(ご氏名, ご所属, E-mailアドレス, TEL, FAX, 参加予定)をご記入の上, 下記 E-mailまたは FAXでお申し込みください。この用紙を申込書として, FAXにて送付いただきましても結構です(必要事項を必ずご記入ください)。

シンポジウム事務局 E-mail: [qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp](mailto:qms-h-secretary@tqm.mgmt.waseda.ac.jp)  
 TEL: 03-5286-3304 FAX: 03-3232-9780

PCAPS研究の詳細は, <http://plaza.umin.ac.jp/~A-epath/> をご参照ください。  
 QMS-H研究の詳細は, <http://qms-h.org/index.html> をご参照ください。

## 【参加申込書】

※1 参加予定欄に下記のア), イ), ウ)のいずれかをご記入ください。  
 参加予定日 [ ア).2/27と2/28の2日間とも参加 イ).2/27のみ参加 ウ)2/28のみ参加 ]

ふりがな 氏名	ご所属/ 職種	E-mailアドレス	TEL/ FAX	参加 予定※1